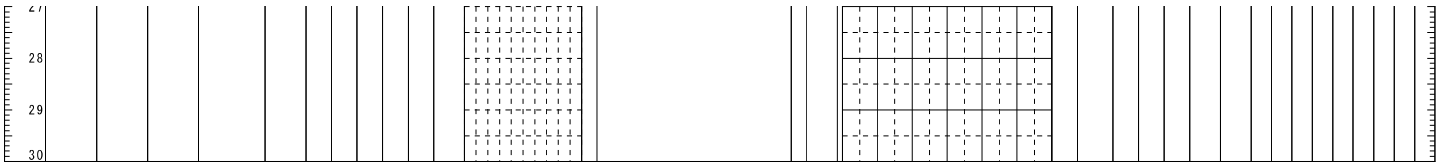
岩盤ボーリング柱状図

調査名　一般県道　竹原吉名線　道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-4	調査位置	竹原市吉名町掛之浦			北緯	34° 19′ 13.5003″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 1月 7日～ 令和3年 1月18日			東経	132° 52′ 26.0299″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	TP 44.85m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	25.00m	使用機種	試錐機	東邦DO-D			
			エンジン	ヤンマーTF90V-E	ポンプ	共立 HP173	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
1				流紋岩質凝灰岩	茶褐～灰褐～淡褐灰	w5	h3	E	VI	d	D	0[0][100] 0[0][100] 0[0][100] 0[0][100] 0[0][100] 0[0][100]	GL-0.0～0.3m付近は微細砂状を呈する。草根を若干混入する。岩組織は認められるが、指圧により容易に砕け、中～粗砂状を呈する。 下位になるに従い、粗砂～細礫状の鉱物粒子がみられる。亀裂箇所が認められるが、不明瞭である。 岩級区分:DL(砂質土)			9 21 19 25 25	1.15 1.45 2.15 2.45 3.15 3.45 4.15 4.45 5.15 5.45	9 300 21 300 19 300 25 300 25 300				3.15 含水量粒度 3.45	1/7	S/MC D/MC					
6	38.85	6.00														42 49	6.15 6.45 7.15 7.45	42 300 49 300													
7	36.85	8.00		流紋岩質凝灰岩	淡褐灰～淡緑灰	w5	h3	E	VI	d	D	0[0][100] 0[0][100]	岩組織と亀裂は明瞭となる。指圧により容易に砕け、中～粗砂状を呈する。岩級区分:DM(砂質土)																		
8																50以上	8.15 8.31	50 160	160												
9												0[0][100] 0[0][100]				50以上	9.15 9.30	50 150	150			9.15 含水量粒度	1/9								
10				流紋岩質凝灰岩	暗緑灰～淡褐灰	w4	h3	E	VI	c	D	0[0][100] 0[0][100]	指圧により容易に砕け、中～粗砂状を呈する。 GL-8.0m～9.0m付近は特に脆い。所々縦方向の亀裂が連続している。岩級区分:DH(軟岩I)			42	10.15 10.45	42 300													
11												0[0][100] 0[0][100]				50以上	11.15 11.25	50 100	100			9.30			66/ケーシング						
12	32.25	12.60														50以上	12.00 12.13	50 130	130												
13	31.65	13.20		流紋岩質凝灰岩	暗緑灰	w3	h3	C	IV	c	CL	17[27][100]	概ね短棒状コアを呈する。ハンマー軽打により割れる。 亀裂面は暗褐色を呈する。 岩級区分CL(軟岩I)			50以上	13.00 13.05	50 50	50				1/13								
14				流紋岩質凝灰岩	緑灰暗～淡褐灰	w3	h2	C	III	c	CM	14[52][100] 24[57][100] 24[53][100]	棒状～短棒状を呈し、やや硬質であるがコア肌は粗い。 GL-14.5m～14.9m付近は亀裂面に沿って薄く粘土を挟み、やや脆い。 岩級区分:CM(軟岩II)			50以上	14.00 14.05	50 50	50												
15	29.05	15.80														50以上	15.00 15.08	50 80	80												
16																50以上	16.00 16.05	50 50	50												
17				流紋岩質凝灰岩	暗緑灰	w3	h3	C	IV	c	CL	19[15][95] 13[35][95]	概ね短棒状コアを呈する。亀裂に沿って脆い箇所が多く、GL-16.9～17.2m付近は細礫状を呈する。 岩級区分:CL(軟岩I)			50以上	17.00 17.11	50 110	110												
18	26.45	18.40												1/18 17.60		50以上	18.00 18.07	50 70	70												
19	25.05	19.80		流紋岩質凝灰岩	暗緑灰～淡褐灰	w3	h2	C	III	c	CM	20[66][100] 17[27][100]	棒状～短棒状を呈し、硬質であるがコア肌は粗い。局部的に細礫状を呈し、やや脆い箇所がみられる。 岩級区分:CM(軟岩II)			50以上	19.00 19.05	50 30	30				1/14								
20	24.25	20.60		流紋岩質凝灰岩	暗緑～淡褐灰	w3	h3	C	IV	c	CL	10[10][100]	GL-19.8m～20.1m付近は亀裂面に沿って淡褐灰色を呈し、脆い箇所がみられる。			50以上	20.00 20.10	50 100	100												
21	22.85	22.00		流紋岩質凝灰岩	暗緑～淡緑灰	w2	h2	B	II	b	CM	21[66][100]	GL-20.1m～22.4m付近は細礫～岩片状を呈する。岩級区分:CL(軟岩I)			50以上	21.00	貫入不能													
22	21.85	23.00		流紋岩質凝灰岩	暗緑	w3	h2	C	IV	c	CL	10[10][100]	棒状～短棒状を呈し、硬質であるがコア肌は粗い。 所々に白色の薄い鉱物脈がみられる。 岩級区分:CM(軟岩II)			50以上	22.00	貫入不能					1/15								
23													硬質な岩片～礫状コアが主体。 岩級区分:CL(軟岩I)			50以上	23.00	貫入不能													
24				流紋岩質凝灰岩	暗緑～淡褐灰	w2	h2	B	II	b	CM	24[54][100] 21[55][100]	棒状～短棒状を呈し、硬質であるがコア肌は粗い。 亀裂面に沿って淡褐灰を帯び、やや脆い箇所がみられる。 亀裂面は暗褐色を呈する。所々に潜在亀裂あり。 岩級区分:CM(軟岩II)			50以上	24.00	貫入不能							66	D/DB						
25	19.85	25.00														50以上	25.00	貫入不能					1/18								
26